

平成29年第1回定例会（6月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

平成29年 6月19日
観光文化スポーツ部

【補正予算関連】

観 光 戦 略 課	観光文化スポーツ部 平成29年度6月補正予算案の概要	-- 1
	地域観光戦略推進宿泊機能整備事業について	----- 3
	信金等との協定に基づく団体旅行誘致事業について	----- 4
	着地型インバウンド推進旅行会社出資事業について	----- 5
観 光 振 興 課	秋田のインバウンド誘客促進事業について	----- 6
秋田うまいもの販売課	いぶりがっこブランド力強化事業について	----- 11
	秋田の日本酒プロジェクト推進事業について	----- 12
交 通 政 策 課	奥羽・羽越新幹線整備促進事業について	----- 13
	秋田犬の里魅力アップ促進事業について	----- 14
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ王国創成事業について	----- 15
	スポーツ栄養サポート力向上事業について	----- 17
	F I Sワールドカップモーグル大会開催事業について	----- 18
	元気アップ運動機会拡充事業について	----- 19
	スタジアム整備のあり方検討事業について	----- 20
	県立総合射撃場利用可能性調査事業（鉛害防止対策） について	----- 21

観光文化スポーツ部 平成29年度6月補正予算案の概要 ～ 交流人口の拡大に向けた、重点課題への対応 ～

観光文化スポーツ部

国内外からの誘客拡大

重点課題

- ① 誘客促進を図るためのチャネルの多様化
- ② インバウンド拡大に向けた新たな取組へのチャレンジ

【スポーツによる交流人口拡大】

◆ スポーツ大使を活用した本県のPR

- ・「ヤクルトスワローズファン感謝DAY」において、本県の食と観光をPR
[11月下旬 神宮球場]



【スポーツによるインバウンド誘致】

◆ スポーツ合宿誘致に向けた態勢の拡充

- ・受入態勢における課題であるスポーツ栄養メニューを開発し、ホストタウンへ普及

◆ ワールドカップモーグル大会の開催

- ・[3月3日～4日 たざわ湖スキー場]
- ・「モーグルの聖地」を世界へ発信
- ・ジュニアキャンプ開催



【観光誘客の促進】

◆ 信金との協定に基づく団体旅行の誘致

- ・他県の信金の年金旅行等を本県に呼び込むため、他県信金の旅行企画責任者を対象としたファミツアーを実施



【インバウンドの拡大】

◆ テーマとターゲットを絞った誘客プロモーション

- ・[台湾] 高雄市での観光イベント等の実施
- ・[韓国] 冬季誘客促進に向けた集中プロモーション
- ・[タイ] 個人旅行者をターゲットとする旅行商品の造成支援

◆ 東北各県との連携による取組

- ・ドライブ周遊観光の促進
- ・冬の体験コンテンツの旅行商品化促進



受入環境の整備

重点課題

- ① 選ばれる観光地になるための受入環境の整備
- ② 秋田犬と会える機会の創出

【観光拠点の整備促進】

◆ 拠点となる宿泊施設づくり

- ・県内の主要な観光地の育成と誘客促進を図るため、地域の拠点となる宿泊施設が行う大規模改修等を支援



【外国人の受入環境の整備】

◆ 地域の強みを生かした観光拠点の形成

- ・秋田犬の展示や体験プログラム整備等による「秋田犬ふれあいライン」の充実
- ・本県観光のゲートウェイである田沢湖エリアの周遊観光拠点化を促進



◆ ランドオペレーター機能の創出

- ・本県のインバウンドを拡大するうえでの課題であるランドオペレーター機能を担う新たな企業に対し、マスメディアや金融機関と協調し出資

交流人口拡大の基盤となる取組

重点課題

- ① 食品出荷額低位からの脱却を目指したリーディング品目の創出
- ② 交流動線の基盤となる新幹線網の整備促進と、三セク鉄道の維持・利活用拡大
- ③ スポーツ競技力向上等を目指した「人」への投資と、地域活性化や社会貢献を図るための「モノ」への投資のあり方検討

【本県をリードする品目の基盤強化】

◆ いぶりがっこのブランド力強化

- ・いぶりがっこの製造標準マニュアル及び販売戦略の策定支援

◆ 高品質な酒づくりへの転換とプロモーション

- ・サーマルタンク等の設備導入を促進
- ・関西地域への売り込み強化等



【未来を見据えた交通網の整備促進等】

◆ 奥羽・羽越新幹線の整備促進

- ・整備計画路線格上げを目指した、基礎的な調査・研究を実施
- ・若者への啓発や、県民への広報活動などを実施

◆ 三セク鉄道の利用促進等への支援

- ・秋田内陸線の「秋田犬列車」を拡充
- ・事業者が行う安全対策を支援



【スポーツ立県あきたの推進と将来構想】

◆ スポーツ王国の創成

- ・中学生の潜在能力を発掘するため、競技の適性を判断するトライアルを実施
- ・スポーツ国際交流員（ラグビー）を招致



◆ 「健康寿命日本一」への取組

- ・中高齢者等のスポーツ実施率の向上や健康増進のため、元気アップ運動指導者の養成や運動教室の開催等を実施

◆ スタジアム整備のあり方検討

- ・J2ライセンスを満たすサッカースタジアムの整備に向け、関係市町村や団体等との協議の場を設置し、整備のあり方を検討



◆ 県有体育施設の整備とその先の整備構想

- ・大館樹海ドームの外部柱の改修
- ・有害鳥獣の捕獲対策を前提とした、県立総合射撃場クレイ射撃場の再開場可能性調査

地域観光戦略推進宿泊機能整備事業について【新規】
(地域経済循環創造事業交付金)

観光戦略課

1 目 的

県内の主要な観光地の育成と誘客促進を図るため、地域の拠点となる宿泊施設が行う大規模改修等を、金融機関と連携し支援する。

2 概 要

(1) 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業費補助金（循環創造枠）

地域の拠点として、国内外から新たな観光客を呼び込むことができる魅力的な宿泊施設づくりを促進するため、金融機関の目利きを生かしながら、大規模改修等に対する支援を実施する。

- ・ 補助対象：県内において主に観光客を対象とした宿泊施設を経営する民間事業者
- ・ 補助対象経費：対象施設に係る、施設整備費、機械装置費及び備品費
- ・ 補 助 率：補助対象事業費の1／2以内
(補助額の1／2に国交付金を充当)
(補助残は、県内金融機関の無担保無保証融資を受けることが要件)
- ・ 限度額等：25,000千円×3件

(2) アドバイザーの派遣

集客や経営等について課題を抱える事業者に対し、適切なアドバイスを行うことにより、事業者自らによるサービスの向上や経営の革新を促す。

- ・ アドバイザー：2名程度
- ・ 対象施設：延べ8施設程度

3 予算額

75,707千円

- (1) 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業費補助金（循環創造枠） 75,000千円
(負担金補助及び交付金)

(2) アドバイザーの派遣

707千円

内訳	〔	・ 報償費	200千円	〕
		・ 旅 費	507千円	

信金等との協定に基づく団体旅行誘致事業について【新規】

観光戦略課

1 目 的

県外からの観光誘客の拡大を図るため、県と、羽後信用金庫、秋田信用金庫及び信金中央金庫との連携協定に基づき、他県の信金の顧客団体旅行の誘致を進める。

2 概 要

(1) 他県信金への営業訪問

県内各信金のネットワークを活用して首都圏等の信金を訪問し、本県への顧客団体旅行の誘致を働きかける。また、他県の信金を訪問する際の営業ツールとなる、四季のモデルコースや食の魅力等を盛り込んだパンフレットを作成する。

・訪問時期：8月頃

(2) モデルコース視察ツアーの実施

他県信金の旅行企画担当者を招へいし、県内の主要観光地や観光資源等を体験していただくとともに、顧客団体旅行の誘致に向けたフォローアップを行う。

・実施時期：10月頃（紅葉の時期）

・招へい人数：10名程度

3 予算額

1, 994千円

内訳	・旅 費	257千円
	・需用費	36千円
	・役務費	106千円
	・委託料	1,595千円

着地型インバウンド推進旅行会社出資事業について【新規】

観光戦略課

1 目 的

インバウンドの増加による観光需要の取り込みを促進するため、着地型の旅行商品企画や海外の旅行会社との連携による誘客等を事業の核とする新たな旅行会社に対し出資する。

2 概 要

(1) 新会社の概要（予定）

- ・社 名：株式会社東北 i ツアーズ
- ・所 在 地：秋田市山王臨海町 1－1（(株)秋田魁新報社社屋内）
- ・資 本 金：40,000千円
- ・業務開始日：平成29年7月1日
- ・経 営 方 針：
 - 〈地元密着〉地元メディアの情報発信力やネットワークを生かした商品を開発
 - 〈独 自 性〉秋田県にしかない風景・体験を商品化して感動を提供
 - 〈持 続 性〉継続的に外国人旅行客を呼び込み、質の高いおもてなしを提供

(2) 新会社の出資構成（予定）

- ・(株)秋田魁新報社：75%
- ・(株)秋田銀行、(株)北都銀行：各5%
- ・(株)秋田放送、秋田テレビ(株)、(株)秋田ケーブルテレビ、藤田観光(株)、
秋田県：各2.5% ほか

3 予算額

1,000千円
(投資及び出資金)

秋田のインバウンド誘客促進事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目 的

訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、台湾やタイ、韓国等を対象にした誘客プロモーションを展開するほか、東北各県との広域連携による取組を強化する。

2 概 要

(1) 訪日外国人受入環境整備事業 **6, 000千円**

○ 県有施設における受入環境整備事業

十和田ホテルのWi-Fi環境を整備する。

(2) 秋田犬を活用したFIT誘客対策事業【新規】 **17, 579千円**

① 秋田犬ふれあいライン整備事業

秋田犬の展示や市町村等と連携した体験プログラム等の整備を行うとともに、留学生による外国人目線での体験プログラム等の検証を行う。

② 秋田犬ふれあいライン情報発信事業

訪日外国人が多い時期に「秋田犬ふれあいラインキャンペーン」を実施するとともに、フェイスブックを活用した情報発信等を行い、認知度向上を図る。

・対象市場：台湾、香港、タイ、中国等

・実施時期：平成29年10月、平成30年1月

(3) タイ誘客促進事業 **9, 135千円**

○ タイ誘客ステップアップ事業

団体から個人へと旅行形態が変化していることを踏まえ、個人旅行者をターゲットに、プロモーションを実施する。

・実施内容：インターネット上で取引を行う旅行会社等と連携して秋田泊旅行商品の造成支援

(4) 台湾誘客促進事業 **9, 777千円**

○ 高雄市観光交流促進事業

高雄市での認知度向上を図り、誘客を促進するため、観光イベント等により、本県観光をPRする。

・実施内容：田沢湖・澄ちようせいこ清湖交流30周年イベント（平成29年11月）
高雄ランタンフェスティバル（平成30年2月）

(5) 韓国誘客促進事業 **23, 983千円**

○ 冬の観光誘客強化事業

冬の秋田の魅力を韓国に向けて集中的にPRするとともに、秋田泊旅行商品の造成を支援する。

- ・実施内容：冬の秋田泊旅行商品造成支援
スノーアクティビティセミナーの開催
韓国若手クリエイター等の招へい、作品展示及び交流会の開催

(6) モーグルの聖地「秋田・たざわ湖」ブランド化事業【新規】 9, 243千円

たざわ湖スキー場の「モーグルの聖地」としてのブランドを活用して、田沢湖エリア一帯の観光拠点化を目指し、受入態勢整備や情報発信等を行う。

- ・対象市場：台湾、香港、中国、欧米等
- ・実施内容：体験プログラムの充実とメディアを活用した魅力発信
冬季誘客セミナーの開催

(7) レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業 1, 647千円

海外メディア等の招へいにより、東北のドライブ周遊観光の情報を発信するほか、旅行会社等へのセールスを強化する。

- ・対象市場：台湾、香港、韓国、シンガポール、タイ

(8) 航空キャリア連携旅行エージェント誘客促進事業 2, 000千円

海外の航空キャリア関係者と提携旅行エージェントを招へいし、東北6県の空港視察や商談会等を実施する。

- ・対象市場：香港、韓国、シンガポール

(9) デジタルコンテンツプロモーション事業 4, 320千円

東北の魅力を紹介する動画を制作して、インターネット（YouTube、^{バイドゥ}百度等）により情報発信する。

(10) 冬の東北とスノーコンテンツ等発信事業【新規】 16, 236千円

① 着地素材となる冬の東北観光素材の商品化

東北の冬の体験コンテンツのデータベースの充実を図るとともに、コンテンツの磨き上げや旅行商品化を促進する。

② プロモーション事業

冬の東北のブランド化に向け、海外向けWEBサイトの制作や旅行エージェント及びメディア招へいを実施するとともに、商談会等に出展して認知度向上を図る。

※(7)～(10)は東北6県による共同事業

3 予算額 99, 920千円

内訳	・旅 費	4, 084千円
	・需用費	850千円
	・役務費	714千円
	・委託料	94, 272千円

平成29年度 秋田県インバウンド誘客戦略

インバウンドの取組における背景

- 国では、平成28年を「東北観光復興元年」と位置づけ、東北観光復興対策交付金等を活用して、2020年までに東北の外国人宿泊客を現在の3倍の150万人に押し上げることを目指している。
- 平成28年における本県の訪日外国人宿泊者数は、対前年比で114.1%と、全国の105.9%を上回るものの、東北全体の122.0%に比べ低い結果となっている。
- 訪日外国人旅行者の旅行形態は個人・小グループへと移行しており、二次交通の充実やWi-Fi環境の整備、多言語による案内の強化など、地域の受入態勢の整備が重要である。
- 東北の玄関口である仙台空港は、台湾線にLCCが就航するなど、主要ゲートウェイとしての役割が増しており、その活用による誘客を積極的に進める必要がある。

国の「東北観光復興対策交付金」を活用して、外国人旅行者にやさしい受入環境の整備や重点市場への集中プロモーション等を実施するほか、東北6県や北東北3県との連携事業を実施する。(カッコは平成29年度6月補正、○は平成28年度2月補正(繰越)及び平成29年度当初予算)

「やさしさ日本一」受入環境整備 ～外国人の一人旅でも安心～

県の取組

- 観光施設等のインバウンド対応力の向上
- 外国人旅行者向け体験型コンテンツの整備とセールスシートの作成
- 二次アクセス整備に向けた支援や外国人向けアプリケーションの機能強化
- (1) 県有観光施設におけるWi-Fi環境の整備

市町村連携の強化

【県・市連携】

- 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信

【市町村連携】

地域の個別課題に対応するため、市町村が連携して実施する受入環境整備

- ① 二次アクセスの検討・整備
 - ・FITの増加を見込んだ仙北～大仙～秋田～男鹿の県央部における横軸連携
 - ・湯沢雄勝地域の二次アクセス整備による利便性向上
- ② 地域DMOと連携した事業展開
 - ・DMO「秋田犬ツーリズム」の活動との連動、函館や仙台等のインバウンド先進地と連携した誘客促進
 - ・世界遺産白神山地の活用など、山本地域での地域連携DMOの設立を目指した取組
- ③ 地域特有のコンテンツの活用
 - ・環鳥海地域が連携してジオパークを前面に打ち出した誘客促進と受入環境整備
 - ・「みずほの里ロード」を活用したサイクリングによる誘客促進
 - ・県南の雪文化を活用したコンテンツづくりの検討

広域連携による取組 ～広域の観光流動を促進～

【北東北三県連携】

- 東北観光復興対策交付金事業の検証による効率的・効果的な取組の推進
- 十和田・八幡平の受入環境整備と情報発信、国立公園満喫プロジェクトとの連携
- 「北東北食街道」の拡充及びそれをコンテンツとした旅行商品造成

【東北連携】

- (7) FITをターゲットにしたレンタカー情報の発信
- (8) 航空キャリアや旅行エージェントとの共同誘客プロモーションの実施
- (9) デジタルコンテンツを活用したプロモーションの実施
- (10) スノーコンテンツ等の収集と商品化、情報発信

台湾・タイ等の重点市場を核とした観光誘客

台湾・香港

本県の最大マーケットからの誘客強化

- 台湾チャーター便の運航支援、個人旅行者に向けた情報発信
- 里山サイクリングを観光コンテンツとした誘客プロモーション
- 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信(再掲)
- (2) 秋田犬を活用した体験プログラム造成及びFIT向け情報発信
- (4) 高雄市でのプロモーション強化と交流の促進
- (6) たざわ湖スキー場を核とした「モーグルの聖地」としての田沢湖ブランドの充実・強化

タイ

東南アジアの有力市場へのアプローチ

- 「秋田観光大使」を活用した集中プロモーション等の実施
- 旅行エージェント招聘による旅行商品の造成支援
- (2) 秋田犬を活用した体験プログラム造成及びFIT向け情報発信(再掲)
- (3) インターネット上で取引を行う旅行会社等と連携して個人旅行者向けプロモーションを実施

韓国

定期便の早期再開

- 秋田・ソウル国際定期便運航再開に向けたセールスの強化
- (5) 冬季誘客に向けたプロモーションの強化と旅行商品の造成促進

中国

富裕層をターゲットに拡充

- 旅行博への出展やSNS等での情報発信
- (2) 秋田犬を活用した体験プログラム造成及びFIT向け情報発信(再掲)
- (6) たざわ湖スキー場を核とした「モーグルの聖地」としての田沢湖ブランドの充実・強化(再掲)

豪州・欧米

訴求力のあるコンテンツを活用

- 里山サイクリングを観光コンテンツとした誘客プロモーション(再掲)
- 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信(再掲)
- 東京や京都、北海道等の外国人観光客が多い地域での誘客プロモーションの実施(再掲)
- (6) たざわ湖スキー場を核とした「モーグルの聖地」としての田沢湖ブランドの充実・強化(再掲)

国内でのPR等による誘客 ～セカンドデスティネーション戦略～

- 東京や京都、北海道等の外国人観光客が多い地域での誘客プロモーションの実施
- 多言語パンフレットの配布や訪日外国人向け情報誌への情報掲載

いぶりがっこブランド力強化事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

秋田を代表する食品の一つである「いぶりがっこ」のブランド力強化を図るため、県内業界団体により設立された「秋田県いぶりがっこ振興協議会」による品質向上及び販売促進の取組を支援する。

2 概 要

(1) いぶりがっこ品質向上対策事業

高品質な製品づくりのため、協議会による「いぶりがっこ製造標準マニュアル」の策定にあたり、アドバイザーや総合食品研究センターによる技術指導を行う。

(2) いぶりがっこ販売戦略の策定支援事業

通年販売体制を確立し販売量を拡大するため、農業試験場と連携し、協議会が策定する販売戦略に必要な県内外の販売動向や原料の確保に関する調査を行う。

3 予算額

860千円

(1) いぶりがっこ品質向上対策事業

574千円

(委託料)

(2) いぶりがっこ販売戦略の策定支援事業

286千円

内訳	・旅 費	184千円
	・需用費	27千円
	・役務費	39千円
	・使用料及び賃借料	36千円

秋田の日本酒プロジェクト推進事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

本県酒造業の振興を図るため、吟醸酒など高品質な酒づくりへの転換を図る蔵元に対し支援を行うほか、酒造業界と一体となって、有望な市場である関西への売り込みを強化するとともに、来県する観光客等に対して美酒王国秋田の魅力を発信する。

2 概 要

(1) 高品質清酒製造に向けた酒蔵体質強化事業

市場のニーズに対応した風味や個性の際立つ酒づくりへの転換に必要なサーマルタンク等の設備を導入する蔵元に対して支援を行う。

- ・補 助 率：1／2以内
- ・採択件数：5件程度（補助上限額3,000千円）

(2) 秋田の日本酒販売プロモーション事業

関西地域での市場開拓を図るため、メディアを活用したPR活動を行うほか、観光客等に対し、県産酒の魅力発信を行う。

① 関西売り込み強化事業

関西地域への県産酒の売り込みを強化するため、秋田県酒造組合が主催する「秋田の酒きき酒会」と連携し、関西メディアを対象とした発表会等を開催する。

② 秋田の日本酒魅力発信事業

観光客等に対して県産酒をPRするため、蔵元の紹介や県産酒の歴史などを紹介するパネルを制作し、秋田の酒のアンテナショップに掲示する。

3 予算額

23,020千円

(1) 高品質清酒製造に向けた酒蔵体質強化事業

15,119千円

内訳	・報償費	32千円
	・旅 費	76千円
	・役務費	11千円
	・負担金補助及び交付金	15,000千円

(2) 秋田の日本酒販売プロモーション事業

7,901千円

内訳	・旅 費	641千円
	・委託料	7,260千円

奥羽・羽越新幹線整備促進事業について

交通政策課

1 目 的

昭和48年に国の基本計画に位置づけられた奥羽、羽越両新幹線の整備を促進するため、調査研究を行い、国やJR等に対して提案を行うとともに、広報活動等により気運の醸成を図る。

2 概 要

(1) 奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた調査研究の推進

整備計画路線格上げに必要な国の調査実施を目指すため、沿線県と連携しながら地域の将来ビジョン、沿線地域の特性に応じた整備手法等についての基礎的調査・研究を実施する。

【調査項目案】

- ・新幹線を活用した地域ビジョン骨子の作成
- ・需要予測調査に向けたデータ収集
- ・地域の実情を踏まえた整備手法の研究 等

(2) 若者への啓発及び意見交換

実現まで多くの年数を要する新幹線の果たす役割と効果等について、県内大学生など未来を担う若者と意見交換を実施し、気運の醸成を図る。

(3) 啓発広報活動の実施

普及啓発のための大型看板の整備及び広報グッズを作成し、整備促進に係る気運の醸成を図る。

3 予算額 9, 991千円

(1) 奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた調査研究の推進 7, 609千円

内訳	・旅 費	1, 030千円
	・需用費	73千円
	・役務費	6千円
	・委託料	6, 500千円

(2) 若者への啓発及び意見交換 341千円

内訳	・報償費	100千円
	・旅 費	81千円
	・需用費	100千円
	・使用料及び賃借料	60千円

(3) 啓発広報活動の実施 2, 041千円 (委託料)

秋田犬の里魅力アップ促進事業について
(地方創生推進交付金)

交通政策課

1 目 的

国内外で知名度の高い「秋田犬」を活用し、秋田犬の里である本県の魅力アップの一環として、第三セクター鉄道のイメージアップ及びインバウンドを含む観光客の利便性の向上を図る。

2 概 要

秋田内陸線の車両を秋田犬をイメージした内装や外装（ラッピング等）に改装するとともに、多言語による音声案内機器の設置等を行う。

- ・改装車両：3両
- ・改装内容：ラッピング、座席シート張替、音声ペン設置等
- ・補助率：10／10

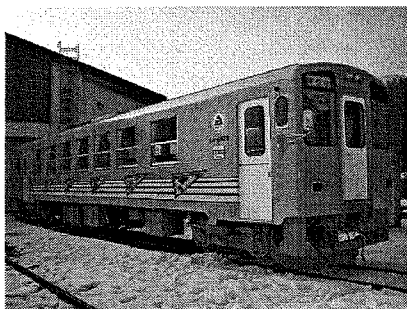
3 予算額

62,411千円
(負担金補助及び交付金)

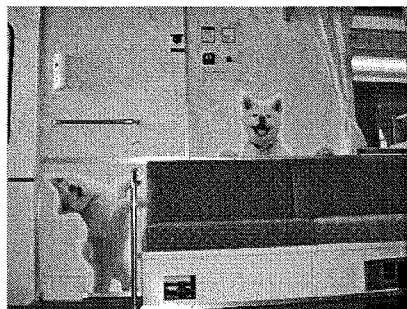
【参考1】車両整備スケジュール

平成28年度	3両
平成29年度当初	1両
平成29年度補正	3両
平成30～32年度	6両
計	13両

【参考2】平成28年度整備済み車両



(外装)



(内装)



(音声ペン)

1 目 的

「スポーツ立県あきた」を推進するため、競技団体と連携したジュニア期からの一貫指導体制の確立を目指すほか、スポーツ国際交流員を活用した専門的な競技指導を実施することにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概 要

(1) 秋田県タレント発掘合同トライアル事業【新規】

中学生を対象として、競技経験の有無に関わらず、パワーやスピード、持久力等に秀でた潜在能力を持ったジュニアアスリートを発掘するため、競技団体と協同し、競技の適性を判断する測定会（トライアル）を実施し、参加者に対して個々の適性をフィードバックする。

- ・実 施 時 期：平成29年9月
- ・実 施 対 象：中学校3年生
- ・委託予定先：公益財団法人秋田県体育協会

(2) スポーツ国際交流員招致事業【新規】

（語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」対象事業）

スポーツ国際交流員（SEA）を招致し、県内の競技者に対して、専門的な指導を行うとともに、スポーツを通じた国際交流を図る。

- ・招致予定者：ジョシュア・ケレビ（フィジー共和国：ラグビー）
- ・招 致 期 間：平成29年8月21日～平成30年8月20日（最長5年間）
- ・業 務 内 容：中学生強化選手、高等学校強化拠点校への指導

2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際交流事業
幼稚園、小学校等での交流事業 等

【参考】JETプログラムとは

海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び学校で、国際交流の業務と外国語教育に携わることで、地域レベルでの国際化を推進することを目的としている。

- 1 外国語指導助手（ALT）
学校等に配属され、教員の助手として外国語授業等に従事する。
- 2 国際交流員（CIR）
地方公共団体の国際交流担当部局等に配属され、国際交流活動に従事する。
- 3 スポーツ国際交流員（SEA）
地方公共団体等に配属され、スポーツ指導や国際交流活動に従事する。

3 予算額		9, 2 5 3 千円
(1) 秋田県タレント発掘合同トライアル事業		2, 7 8 9 千円 (委託料)
(2) スポーツ国際交流員招致事業		6, 4 6 4 千円
内訳	・ 報償費 ・ 共済費 ・ 旅 費 ・ 需用費 ・ 役務費 ・ 負担金補助及び交付金	3, 7 8 9 千円 5 8 2 千円 1, 7 9 7 千円 2 0 千円 1 5 千円 2 6 1 千円

スポーツ栄養サポート力向上事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致に向け、スポーツ栄養に関する専門性の高い講師による講習会の開催や、県内食材を活用したスポーツ栄養メニューの作成により、ホストタウンの受入態勢を充実するとともに、県内競技者の競技力向上にも資する。

2 概 要

(1) スポーツ栄養講習会の開催

ホストタウン登録している市町の職員や宿泊施設、資格保有者を対象にスポーツ栄養に関する講習会を実施する。

(2) スポーツ栄養メニューの作成

県産食材を活用したスポーツ栄養メニュー、宗教(ハラル等)に対応したスポーツ栄養メニューを作成する。

3 予算額

538千円

内訳	・ 報償費	480千円
	・ 旅 費	53千円
	・ 使用料及び賃借料	5千円

F I Sワールドカップモーグル大会開催事業について

スポーツ振興課

1 目 的

たざわ湖スキー場（黒森山コース）において、国際スキー連盟（F I S）主催のワールドカップモーグル大会を開催することにより、たざわ湖スキー場の魅力を世界に発信するとともに、県内の競技スキーのレベル向上及び冬期間のさらなる誘客を図る。

2 概 要

（１）F I Sワールドカップモーグル大会開催事業

実施主体となる組織委員会に開催経費の一部を負担する。

- ・実施主体：F I Sフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会組織委員会
（構成団体：県、仙北市、秋田県スキー連盟、田沢湖高原リフト(株)等）
- ・開催期間：平成30年3月3日（土）～4日（日）
- ・総事業費：117,200千円 内訳

秋田県	55,000千円
仙北市	27,500千円
協賛金等	34,700千円

（２）ジュニアキャンプ開催事業【新規】

モーグル競技人口の拡大及び競技力向上を図るため、北東北3県の小中学生を対象としたジュニアキャンプを開催する。

- ・実施主体：秋田県スキー連盟

3 予算額

55,916千円

（１）F I Sワールドカップモーグル大会開催事業

55,000千円

（負担金補助及び交付金）

（２）ジュニアキャンプ開催事業

916千円

（委託料）

【参考】昨年度大会実績

〔大会名〕	2017 F I Sフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会
〔開催期間〕	平成29年2月18日（土）～19日（日）
〔会場〕	秋田県たざわ湖スキー場 黒森山コース
〔競技種目〕	モーグル（男子・女子）、デュアルモーグル（男子・女子）
〔来場者数〕	8,000人
〔県負担金〕	60,000千円

元気アップ運動機会拡充事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

県民の健康で生きがいのある生活を創るスポーツ活動の充実を図るため、地域スポーツ環境の基盤を強化するとともに、各世代に応じたスポーツ活動を推進する。

2 概 要

中高齢者等のスポーツ実施率の向上や健康増進のため、市町村の取組状況を把握するとともに、指導者の発掘及び育成や運動教室等を、各市町村スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ指導員等の協力を得ながら全県的に展開し、スポーツを通じた「健康寿命日本一」を目指す。

- ・健康体力づくりの取組状況実態調査
- ・元気アップ運動指導者養成研修会の開催
- ・元気アップ運動教室の開催（県内9地区、各4回）
- ・健康アドバイザーの配置（1名）

3 予算額

2, 252千円

内 訳	・ 報 酬	8 6 7 千円
	・ 共済費	1 3 5 千円
	・ 報償費	3 7 0 千円
	・ 旅 費	5 1 3 千円
	・ 需用費	2 7 0 千円
	・ 使用料及び賃借料	9 7 千円

スタジアム整備のあり方検討事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

地元プロサッカーチームの活躍は、県民の一体感の醸成が図られるとともに、交流人口の拡大による地域活性化にも資することから、J 2ライセンスを満たすサッカースタジアムの整備に向けた協議の場を設置し、地域の特性に応じたスタジアム整備のあり方を検討する。

2 概 要

(1) 検討委員会の設置

秋田市をはじめとした関係市町村やスポーツ関係団体、経済団体等の関係者で構成するスタジアム整備のあり方検討委員会を設置する。

・委 員 数：約 2 0 名

(2) 協議事項

- ・ 本県や国内外のスタジアムの状況に関する事
- ・ スタジアム整備に係る基本的な方向性に関する事
- ・ 秋田のまちづくりにおけるスタジアムのあり方に関する事
- ・ 建設するとした場合の施設の機能・規模や自治体の負担に関する事
- ・ スタジアムの建設費や財源・運営手法に関する事 など

(3) スケジュール（予定）

平成 2 9 年 7 月～平成 3 0 年 1 月 第 1 回～第 4 回検討委員会

平成 3 0 年 2 月 中間報告

平成 3 0 年 4 月～平成 3 0 年 8 月 第 5 回～第 7 回検討委員会

3 予算額

8 9 2 千円

内訳	・ 報償費	2 8 0 千円
	・ 旅 費	4 8 2 千円
	・ 需用費	3 6 千円
	・ 役務費	4 7 千円
	・ 使用料及び賃借料	4 7 千円

県立総合射撃場利用可能性調査事業（鉛害防止対策）について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

近年増加傾向にある野生鳥獣による被害防止と県民の安全安心を守る観点から、有害鳥獣の捕獲対策及び狩猟者の育成・確保が喫緊の課題となっているため、現在休場中となっている県立総合射撃場クレ射撃場の再開場に向けた可能性調査を実施する。

2 概 要

クレ射撃場を再開場とするした場合の鉛散弾の全弾回収に向けた調査を実施する。

- ・鉛散弾飛散防止ネット設備の工法
- ・鉛散弾の回収方法
- ・場内の排水処理の方法 など

3 予算額

5, 832千円

(委託料)

【参考】これまでの経緯

平成 7 年 7 月	県立総合射撃場開場
平成 18 年	鉛散弾及び表土の回収等の対策実施
平成 19 年 11 月	秋田わか杉国体終了後にクレ射撃場を休場
平成 20～24 年	鉛汚染土壌回収・処分等の対策実施